

様式1

平成28年度 学校評価表

学校教育目標	夢や目標を持ち 未来を拓く 栗原小教育の創造
--------	------------------------

a ミッション	人権教育を根底にすえた教育活動の創造と発信	a ビジョン	○期待される学校、誇れる学校、前進する学校 ○栗原のこころ「栗原しぐさ」が根付く学校 ○家庭・保・幼・中との連携から「つながる教育」ができる学校 ○尾道市の核として、情報発信できる学校
---------	-----------------------	--------	---

尾道市立栗原小学校

評価計画				自己評価					学校関係者評価			改善計画	責任者				
b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月	1月	h	i	j 結果と課題の説明	k 二次評価				m 改善案			
					g 達成値	g 達成値	度達成	評価		イ	ロ	ハ					
豊かな「時間」「心」「つながり」で子供を育てる	学びを深める	人権教育を根底にすえた学力の定着 ＜分掌連携＞	家庭学習の定着	・家庭学習を意欲的に取り組み、毎日忘れずに提出できる児童の割合	90%										金子		
			学習規律の徹底	・学習に望ましい姿勢を保持して、友達の意見を聞いたり、自己の意見を発表できたりできる児童の割合 (担当評価・児童アンケート)	90%												
			栗原しぐさを基盤とした一貫指導と評価	・ヘア、グループ学習を通して、学習の振り返りで、自分の考えに加筆できる児童の割合	70%												渡瀬
				・気持ちの良い学びの場を作るため、一日一善のできる児童の割合 (担当評価・児童アンケート)	80%												
	よりよい生活習慣の定着 ＜分掌連携＞	体を動かす良さを実感できる、家庭と連携した取組の推進 ・毎月強化週間を設定して実態調査をする	・強化週間において、自己目標が4日以上全ての項目で目標を達成できた児童の割合。	70%											雨宮		
			・強化週間において、休憩時間に毎日1回以上外遊びをした児童の割合	75%													
人間性を育む	共感的人間関係づくり ＜分掌連携＞	人とかかわる中で自分や友達の成長を実感できる教育の推進 ・学校行事 ・日々の授業等	・立ち止まって、相手の目を見て挨拶のできる児童の割合 (担当評価・児童アンケート)	90%										山藤			
			・学級実態把握をし、構成的グループエンカウンターを実施後、「アセス」の「友人サポート」の項目において、満足度が向上した児童の割合。	80%													
			・児童が主体的にかかわる生徒指導の取組を児童会活動を中心に月1回以上の実施。 ＜小中合同目標＞	100%												神森	

【自己評価 評価】
 A：100≦(目標達成)
 C：60≦(もう少し) < 80
 B：80≦(ほぼ達成) < 100
 D：(できていない) < 60

【外部評価】 イ：自己評価は適正である。ロ：自己評価は適正でない。 ハ：わからない。